

熊井の森通信

発行/熊井の森トラスト基金

〒350-0314 埼玉県比企郡鳩山町
楓ヶ丘2-2-1かわせみハウス
NPO法人はとやま環境フォーラム気付
メール kawasemi3001@gmail.com

☎ 049-227-3001 (FAX兼用) ホームページ <https://hatoyama.info/>

体験型「里山学」研修プログラム

詳細は裏面参照

熊井の森 SATOYAMA 自然学校 がスタート!

第1回公開講座 <食>を活かした地域づくり 講師 金丸弘美 氏 参加費 無料

里山が山林所有者にとって世話のかかるやっかいもの
なくなり、里山をそこで暮らそうとする人々に何らかの恩
恵をもたらすものにリニューアル(再生)したい。そうすれば、
地権者が山林を手放す必要がなくなり、外から移り住んで
くる若者が増え、結果的に、「里山を守る」ことが地域全
体のコンセンサス(合意)になるのではないか。そんな、
「里山の保全と活用の両立」というアクロバティックな挑
戦の場が「熊井の森 SATOYAMA 自然学校」です。

理想と現実の差の認識が甘い、と思われている方、歓迎
です。ぜひ、お越しください。ご意見をお聞かせください。
本音で、里山再生を話し合しましょう。 理事 愛場謙嗣

◎講師・金丸弘美氏のホームページ

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/home/index.php>
<金丸弘美氏登場のYouTube配信番組>

●「食育で育む未来の町づくり」各地の具体的事例を紹介
<https://www.youtube.com/watch?v=-ztpU9TX8J8>

●「食育のマエストロが伝える宇治の農業の可能性」

京都府宇治市の岡田剛治(農家)と対談

<https://www.youtube.com/watch?v=XTcf3RY-qcA>



活動報告

■トラスト地散策路づくり、ご苦労様でした



お声がけした散策路整備作業は3月20日、21日、4月10日と3日間、トラスト地1号・2号地で行いました。参加者は川島町、東松山市などに在住の5人と地元鳩山町の3人の総勢8人。集合写真撮影者は、空き地を駐車場として使わせていただいている地主さんです。3日間の作業で、トラスト地尾根の散策路は篠竹などを刈って通れるようになり、

トラスト地内の階段もバッチリ整備され、安全に歩けるようになりました。皆さん手慣れたもので、トラスト活動地契約山林の篠竹刈り作業までやっていただけました。ご苦労様でした。野鳥の営巣時期と暑い真夏は避け、秋口には整備作業と野鳥観察舎の仕上げの再開予定です。

次回はぜひご参加をお待ちしています。

■ハト麦栽培、始めました



5月12日、蛎殻肥料と鶏ふんを撒き、ハト麦栽培経験のある方にあらかじめ苗

床で10cm程に育ててもらったハト麦の苗を800本ほど植え付けました。夏場の水やりがうまくできるか心配です。ハト麦を焙じておやつにポリポリ食べたり、牛乳にひたしてシリアル風にして食べることもできるとか。楽しみです。

ミニ耕運機「HONDAブチなFG201」の寄贈がありました。感謝。

■今年度の活動を開始しました

- ・環境フォーラム総会で2021年度の活動計画が承認(4月11日)
- ・上熊井活性化委員会の皆さんに、熊井の森での活動概要を説明(5月9日)
- ・第5期熊井の森写真学校第1回開校(5月9日)
- ・第12回「エコフェスタ比企in鳩山」を開催(5月22日)
- ・熊井の森魅力発信動画作成チームの打ち合わせ(5月16日)
- ・「木こりクラブ」に今年度の活動を説明し、連携を話し合う(5月30日)
- ・埼玉県令和3年度NPO活動促進助成金を申請(6月11日)

(公財) SOMPO 環境財団助成事業 / 後援 ● 鳩山町

体験型「里山学」
研修プログラム

参加費
無料

里地・里山の保全活用と持続可能な地域コミュニティづくり

熊井の森 SATOYAMA 自然学校

《公開講座スケジュール》各回定員30人 事前予約者優先

第1回講座

「〈食〉を活かした地域づくり」

6月19日(土) 午後1時～3時

講師 / 金丸弘美氏 (総務省地域創造アドバイザー)



1952年佐賀県生まれ。食総合プロデューサー。「食からの地域再生」「食育と味覚ワークショップ」「地域デザイン」をテーマに全国の地域活動のコーディネート、アドバイスを続けている。2009年から内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師。著書に「田舎力——ヒト・夢・カネが集まる5つの法則」ほか多数。

第3回講座

「里山と植生」

8月15日(日) 午後1時～3時

講師 / 中村幸人氏 (東京農業大学名誉教授)

■熊井の森植生学習 (午前9時～11時)



1952年福島県生まれ。東京農業大学名誉教授。植物社会学。「みどりの環境デザイン」(東京農大出版会)の共著者、新刊「植生から見る里山 その保全と再生のために」のほか、多数の学術論文・著書がある。(社)日本植木協会主催の環境アドバイザー研修制度を立ち上げ、野外調査を基本とした多数の指導経験を持つ。

第2回講座

「里山と野鳥」

7月18日(日) 午後1時～3時

講師 / 上田恵介氏 (日本野鳥の会会長)

■熊井の森 野鳥・生き物観察会 (午前9時～11時)



1950年大阪府生まれ。鳥類学者。立教大学名誉教授、公益財団法人日本野鳥の会会長(第6代)、公益財団法人山階鳥類研究所特任研究員。第19回山階芳麿賞を受賞。「花・鳥・虫のしからみ進化論—「共進化」を考える—」(築地書館)、「日本のかわいい鳥 世界の綺麗な鳥」(大和書房)ほか多数。NHK番組「ダーウィンが来た!」等にも出演。

第4回講座

「持続可能な地域づくり」

10月17日(日) 午後1時～3時

講師 / 阿部治氏 (ESD 研究所長)

■熊井の森トラスト活動報告 (午前10時～12時)



1955年新潟県生まれ。専門は環境教育/ESD。現在、立教大学名誉教授、(公社)日本環境教育フォーラム専務理事など。日本環境教育学会会長、立教大学ESD 研究所長など歴任、日本自然保護大賞特別賞沼田真賞など受賞。日本における環境教育/ESDのバイオニアであり、現在は持続可能な地域創生の担い手づくりに注力。最新刊「E S Dの地域創生力と自然学校」(共編著)

会場 ● 交流体験館

鳩山町泉井 524-1 鳩山町宮路線バス「泉井停留所」下車
☎ 049-298-8899

主催 ● NPO 法人はとやま環境フォーラム

問い合わせ先・参加申し込み先 ☎ 049-227-3001
kawasemi3001@gmail.com